

3月自主研究発表会の開催について（通知）

令和4年3月例会（自主研究発表会）を下記の通り開催いたします。

なお、「まん延防止等重点措置の延長（3月6日（日）まで）」に伴い、**会場を伊藤達雄研究室及び、オンライン（推奨）**での開催といたします。

記

1. 日 時 令和4年3月5日（土） 13:30～15:30
2. 開催方式 オンライン方式及び、会場方式による開催とします。
3. 参加方法 ①オンライン方式（ウェビナーツール「Zoom」を利用）へ参加
参加者各自の自宅等
※ビデオ会議ツール「Zoom」を利用して、配信を行います。
※お申し込みいただいた皆様へ参加のためのURLを後日メールにてお知らせします。
※回線状況などでうまく配信できない場合があります。予めご了承ください。

②会場方式へ参加（予告のアスト津から伊藤達雄研究室に変更となります。）
伊藤達雄研究室
(津市一身田上津部田3008-アーツ山の手3-805 ☎059-231-6403)

※参加方法のどちらかを選択して、お申し込みください。
4. テーマ 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校前後の
新聞記事における「教育格差」の使われ方の変化
- 新聞記事の KH Coder による傾向分析 -
5. 発表者 小西 凌 三重大学地域イノベーション学研究科修士課程2年
※講師の方には、オンラインで発表して頂きます。

6. モデレーター 朴 恵淑 三重大学特命副学長
三重大学国際環境教育研究センター(MieGECER)長
WHO アジア・太平洋環境&保健センター(WHOACE)所長

【解題】

新型コロナウイルス感染症対策のために要請された2020年3月の全国的な臨時休校は、教育をうける子どもたちの生活環境、学習環境を大きく変化させた。そういった環境下では、生まれによって教育を受けられる機会に差があることを指す「教育格差」が現れることになった。マスメディアでも、教育格差に関する記事が増えていた。さらに先行研究では、教育政策はマスメディアの影響が大きいことが明らかになっている。そのため、今回の臨時休校をうけて拮がった可能性のある「教育格差」についても、どのような報道のされ方があったのか検証するべきだと考えた。本研究では、ソフトウェアを使用し、新聞記事をテキストマイニングする手法を取り、教育格差がどれくらい報じられて、どのような文脈であったのかを、臨時休校前後で比較をしながら明らかにしていく。

(担当理事：朴理事)

以上

《申込先》 FAX 059-231-6403

都市環境ゼミナール事務局 行

申込み締切 2月27日(日)

3月例会(3/5)に参加します。

氏名：

勤務先：

参加方法：1. オンラインセミナー ・ 2. 伊藤達雄研究室

オンライン参加の方は

メールアドレス：

※どちらかに○印をつけてください。

【Zoom を利用される方へのお願い】

※Zoom を初めて使用される方は、申込後に送られてくるメールに記載されている URL をク

リックし、**Zoom** をパソコンへダウンロードおよびインストールが必要となります。

※インターネット回線の状況やメンテナンス、その他視聴者側のパソコン、スマートフォン、タブレットなどの環境等により、映像や音声途切れる、または停止するなど正常に視聴できないことがございます。上記を理由に配信が正常に視聴できない、あるいは視聴することにより何らかの損害が生じた場合においても、当ゼミでは責任を負いかねますので、予めご了承ください。

※「レコーディング」ボタンがありますが許可されません。

※座長（ホスト）が強制的にミュートやビデオの停止を行うことがあります。

発表や質疑応答の妨げにならないようにしてください。

※Zoomは、米国および他の国々で登録されたZoom Video Communicationsの商標です。